

## 第 4 回安曇野市消防委員会 会議概要

- 1 審議会名 安曇野市消防委員会
- 2 日 時 平成 23 年 2 月 17 日 午後 6 時 30 分から午後 7 時 30 分まで
- 3 会 場 堀金総合支所 2F 西会議室
- 4 出 席 者 丸山重隆委員長、笠井郁男委員、中野博夫委員、横内好幸委員、宮澤一雄委員、  
小林光男委員、島山忠幸委員、猿田 正委員、丸山 胖委員、鈴木清富委員、  
小出博一郎委員、豊島 実委員、
- 5 市側出席者 危機管理室長、消防防災担当係長、下里主査、西牧主査
- 6 公開・非公開の別 公 開
- 7 傍聴人 0 人 記者 0 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 23 年 2 月 28 日

## 協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
- 1 開 会
  - 2 委員長あいさつ
  - 3 会議事項
    - (1) 消防団車輛の配備計画（案）について
    - (2) 平成 23 年度安曇野市消防団事業計画（案）について
    - (3) その他
  - 4 閉会
- 2 会議概要
- (1) 消防団車輛の配備計画（案）について
- 係長より、消防車輛配備における基本方針の説明。
- 室 長 : 安曇野市では消防車 7 台という話があったが全体の中で上手く配置したい。将来的に人口の問題なども考えて配備したい。
- 丸山委員長 : まず何か質問はありますか？それぞれのブロック毎に状況を聞かせていただきたい。豊科はどうですか。
- 中野委員 : 団員に聞いたところ活動は可搬の方がやり易いということで、可搬でやりたいという意見が多かった。また、ポンプ車の場合は狭い道や住宅が密集しているところへ入って行くので使いにくいのが現状です。ポンプ車に水のタンクがついていれば、山際などは欲しいが、タンクが無いのでかえて可搬の方が使い易いと団員の希望がありました。
- 笠井委員 : 豊科は密集地なので可搬で逆に軽でもいい所があると思う。バランスを取った方が良い感じがする。
- 丸山委員長 : 明科はどうですか。
- 横内委員長 : 6 分団 1 部の関係ですが、私のいた頃からポンプと可搬があって、何で 2 台あるのか分からなかったが、ここで軽々しく「はい、結構です。」とは言えない。
- 小出委員 : 6 分団 1 部は町の中心部で当時から団員も多く、定数も多かった。自営業の方も多かった。役場に本部があってポンプを 1 台持っていた。6 分団で車両を 2 台で対応していたと想像します。現状は、団員が減ってきて定数に達していない所もあるので、2 台あっても逆に手に余ってしまうことも無きにしもあらずだと思います。6 分団 1 部としっかり話をした訳ではないが概ね方向性としてはそれ程ずれていない、どちらか 1 台にしても特に問題はないと思います。
- 丸山委員長 : 穂高はどうですか。
- 小林委員 : 私は地元ですが、9 分団 3 部は一番団員が多い分団です。穂高の中心部に詰所があり、穂高町区と等々力町区とも人口が増えている分団です。詰所を合併して 2 台になった歴史がある。今減らすと団員減少にもつながる可能性もある。大型になると詰所に入るかどうかの問題もある。団員

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2 週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

の理解も大事で沈静化してしまうと消防の活力もなくなるのではと懸念される。市の見方とすれば、団員が減少している訳なので伸びる確立は少ない事も考えていかなければいけない。穂高ブロックは広い範囲なので、最低でも（ポンプ車が）3台位あれば。機動力の面や地域の住民からもいきなり可搬になってしまうと消防力は大丈夫かという声も懸念される。

畠山委員：案としては前回現状で良いのではないかと意見を述べたが、穂高ブロックに限っては、いい配置で検討されたのではないかと思います。

丸山委員長：三郷はどうですか。

鈴木委員：まさにこの事を十数年前にやった訳です。当時ポンプ車を可搬に変えた経過がある。その時に大火災があり可搬ではだめだという事で、ポンプ車に変えた経過がある。

丸山委員長：堀金は、9分団から3分団に統合して豊科からも近いですし、ポンプ車はあった方がいいが可搬の方が機動力もあっていいのではないかと、前の団長とも良く話し合っていたと思う。可搬なら自動車の運搬や救急の時など使えて、機動性があって良い。堀金は納得をしている。

横内委員：6分団1部可搬だけでいいのか？

小出委員：最終確認はしていないが方向性としてはいいと思う。

笠井委員：ポンプ車があったら1台は軽にするとか弾力性をもった方がいいと思う。

室長：平成38年までに安曇野市としては将来的には7台で行くということで今後の配置をどうするかはこれからの問題になる。今ここには決めつけられないと思っています。

丸山委員長：組織の問題なので。

中野委員：今活動している実数団員がありますが、資料に書き加えておけば、少人数のところは活動が難しくなるとか、そこまですれば大体のところが見えてくるのでは。

室長：そこまですると、詰所の問題とか部の統廃合とかの問題も出て難しい。人口に対しての定数がまちまちで、明科のように地域の人口は少ないのに定数が多いとかある。水害とか災害の中で定数を上げて地域で守っている。一概には定数=人口になってしまうと難しい。地域性も考慮しながら検討していかなければいけない。

小出委員：団員の定数の見直しとかは。

室長：見直しはしていません。合併した当時の定数と、今の定数を比べると4人位しか減ってはいない。若年層が減っているんで、その割合で定数も減らしていかなければいけないが、統計とかで調べてみたのですが、5年前と今では100人位定数を減らさなければいけない。

小出委員：明科は定数が多いという話があったが、逆に考えれば三郷は人口が多いが、建物に対しての消防団員の数は明科とそれほど違わないのか？

室長：違わないです。

小出委員：変わらないのもおかしな話で、そういう定数の合わせも必要ではないか。

室長：地域性もあるので一概には何とも言えない。三郷もそうだし、穂高の中でも人口が非常に多くても定数が少ない所があります。一方で人口が非常に少なくとも定数が多いところもあるので、団員の確保に非常苦勞している。

小出委員：方向としては自治消防という組織は、個人的な思いとしては、入団する人が減って定数を減らしたら団が小さくなってしまう。どのように維持していくか増やしていくか大前提としてやっていくことと、私は消防団をやって良かったと思っている。地元で生きて生活していくこと、こういう組織を代々残していく、それなりの人達に伝えていかなければいけないと思う。出来れば減らしたくない、がんばって維持していきたいと思っている。

室長：定数を維持するならば、昨年も検討していただいた団員の年数を上げてカバーしていくことも、少しずつ団員の中で理解しながら年齢を上げていく。

丸山委員長：消防力を高めるためには地域性を重んじながら大きくしないと地域は活性化しない。絶対に消防力は落ちる。

室長：安曇野市としての結論は、この松本広域消防局は広域圏の中では非常に高いレベルが維持されている。あえて安曇野市としては松本広域消防が他の広域と一緒にいる事態がレベル低下になるのではないかとというのがひとつ、安曇野市の財政的負担があるということで、時期尚早というのが全体の意見です。市としては広域化には反対という結論になった。もうひとつ無線の関係ですが、総務省については、平成28年の5月にはアナログが使えなくなる。デジタル化で広域消防も頭の痛い

ところだと思うが、これについてはやろうと、切り離して考えている。よろしいでしょうか。

豊島委員：国が消防法を改正しまして、広域化をうたいはじめて、法律がある以上進めていかなければいけない。長野県はモデル地域になっています。県の方針で2本ということで、東北信と中南信の2つ本部を作ればどうかと、それぞれの協議会を設けて協議を始めました。先日将来ビジョンが出来上がってきたが、将来的な事情として、そうならないといけない事情は分かるが時期尚早ではないかと、ひとつは人口30万の広域消防を作ってくださいといわれているが、松本広域消防は既に43万で、広域化している。ここは良いが、人口減で税収が上がってこない地域、木曾や大北もある。いかんせん中南信はあまりにも距離がありすぎて、いざ何かあって隣から要請があれば出て行くのでその点では問題は無い。一番は消防力の維持で厳しいところがこれから出てくるのではないかと。なので広域化がある訳です。松本広域圏の消防のレベルは長野県の中ではトップレベルと思っています。広域化については一旦取りやめになりました。先ほどのデジタルの関係は今のところ中南信と一緒にデジタル化しようということなのです。

室長：この地域は消防力が高いとのことを認識していただければと思います。

小出委員：一点いいですか。車両の登録年月があるが、車両と中の可搬の登録がずれているものもある。車両の中だけ変えている物もあるので、そこも追跡して欲しい。車よりも可搬の方が大事なので可搬が古くなったら変えるという優先でみていただいて、車は動けばいいので。

室長：車は20年でも可搬が古い場合があるので。この資料に入れます。

丸山委員長：他に何かご意見ありますか。

室長：今後の話をしたいと思いますが、先ほど答申の話をしましたが、前の平林市長から諮問を受けていない事項です。消防委員会の検討課題のひとつで、今回は将来的な配置計画の中の検討をした結果を報告という形で市長へ報告したいと考えています。もうひとつは、もう一回報告書を作ったものを、皆さんに見て頂く時間があるかということなのです。

丸山委員長：もう一度検討して、また最終的な報告書を皆さんにチェックして頂いてということですね。

室長：それを郵送して何かあれば、もう一度集まって頂くのと、報告の日取りをほぼ確定していきたいと思っているので3月25日に13分団の3台の配置式の計画をさせて頂きたいと考えています。その時に合わせて将来的な安曇野市の配置計画の検討結果の報告ということで出して頂くスケジュールを組みたいと思っています。

室長：3月の10日頃もう一度第5回の消防員会を開くかどうかということなのです。

丸山委員長：もう一度開いて、事務局で報告書を作って頂いて。

室長：では3月の14日の週でよいですか。報告書を作りますので、目を通して頂くような方法でお願いします。

丸山委員長：では第2項の平成23年度安曇野市消防団事業計画（案）について事務局よりお願いします。

（事務局より、資料を見ながら計画案の説明）

室長：何か質問ありますか。

丸山委員長：9月4日の防災訓練は、今まではどうでしたっけ。

室長：今年は県の防災訓練と一緒にやりました。毎年9月1日は松本市さんと安曇野市は少しずらして、9月の第1週の日曜日に毎年行なうということになりました。地区の防災訓練と重なるところがあると思いますが、宜しくお願いします。

### 3 閉会